KE-D・E形 薄形電磁ホルダ ELECTROMAGNETIC HOLDER

別途電装品要

KE-4E

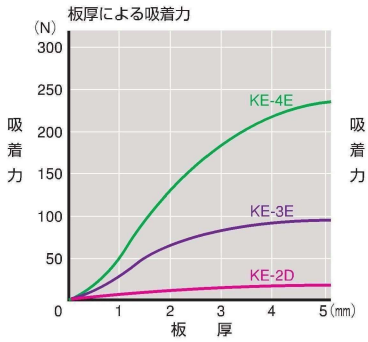
KE-3E

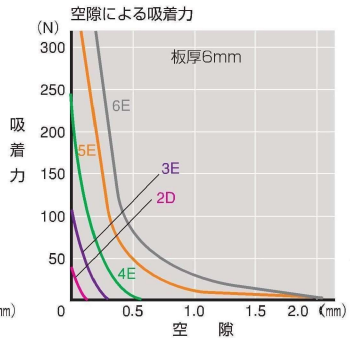
KE-2D

用途 薄形の電磁ホルダです。狭い空間でも一定の上下作動範囲が得られますので、ロボットハンドに適します。

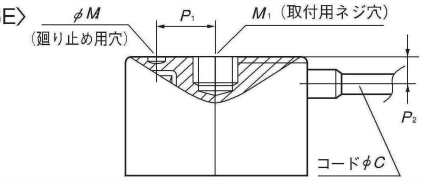
特長
- 連続使用が可能です。
- メッキ仕上げをしています。

コード上面引出し仕様も製作可能です。(KE-2D-U、KE-3E-U、KE-4E-U)





〈KE-3～6E〉



非防水

使用上の注意
吸着面の錆・傷等は吸着力に影響を与えますので、定期的に補修を行ってください。
連続使用した場合はホルダが高温になりますので、ご注意ください。

(mm)

形式 Model	寸法 Dimensions	最大吸着力 Max.Holding Power	取付穴 Hole Dimensions M_1	M_2	P_1	コード Power Cord C	P_2	電圧 Voltage	電流 Current	使用率 Operating Factor	適用整流器 Applicable Rectifier	質量 Mass
KE-2D	φ20×25	18N (1.8kgf)	M4×0.7 深8	φ2.1深2.5	7.5	—	—	DC24V	0.04 A	100%ED	KR-T101A-6/24	30g
KE-3E	φ30×25	80N (8kgf)	M6×1.0 深12	φ4 深2	10	φ3.5	7.5		0.09 A		RH-M303A-6/24,-C1,-C2	100g
KE-4E	φ40×25	220N (22kgf)		φ4 深2.5	15		8		0.12 A		RH-M105C-24	190g
KE-5E	φ50×30	490N (50kgf)	M8×1.25深15	φ5 深3	18		9.5	DC90V	0.05 A		KR-N101A RH-M305A KR-N103A RH-M210C RH-M302A P112,P113	380g
KE-6E	φ60×30	880N (90kgf)		φ5 深4	20		11		0.07 A			500g

※コード長0.3m (但し、KE-2Dのみ0.2mリード線) ※最大吸着力はSS400、10mm厚、研削仕上面プレート全面吸着の値です。

1N≒0.1kgf

KE-R形 自動釈放形電磁ホルダ ELECTROMAGNETIC HOLDER

別途電装品要

非防水

KE-2R

KE-3RA

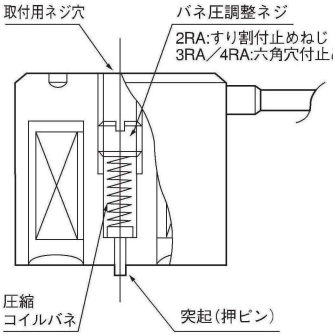
用途 プレス材ワーク等で、小形・軽量のため、ワーク質量のみでは釈放し難い場合の搬送に、工業用ロボットの把手部として適します。

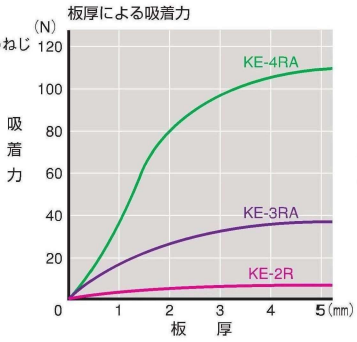
特長
- 吸着面中央の突起のスプリング圧で、瞬時釈放ができます。状況に合せてスプリングの押圧は調整できます。
- 着脱の切れが良いです。
- メッキ仕上げをしています。
- 連続使用が可能です。

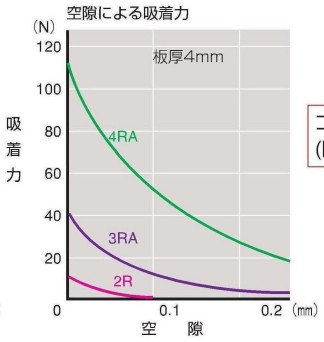
※ホルダの接触する搬送物の吸着部分に、凹凸や穴がない場合に、ご使用下さい。また押圧でたわみを起こす薄板にも不適です。

コード上面引出し仕様も製作可能です。(KE-3RA～4RA-U)

使用上の注意
吸着面の錆・傷等は吸着力に影響を与えますので、定期的に補修を行ってください。
連続使用した場合はホルダが高温になりますので、ご注意ください。







(mm)

形式 Model	寸法 Dimensions	最大吸着力 Max.Holding Power	背部中央ネジ穴 Tapped Hole	電圧 Voltage	電流 Current	使用率 Operating Factor	適用整流器 Applicable Rectifier	質量 Mass
KE-2R	φ20×25	5N (0.5kgf)	M5×0.8深5	DC24V	0.04 A	100%ED	KR-T101A-6/24	50g
KE-3RA	φ30×25	40N (4kgf)	M6×1.0深6		0.09 A		RH-M303A-6/24,-C1,-C2	100g
KE-4RA	φ40×25	100N (10kgf)	M6×1.0深7.5		0.12 A		RH-M105C-24 P112,P113	200g

※突起は、吸着面の中央に、KE-2Rでφ2×最大長1mm、KE-3RA、4RAでφ2.5×最大長1mmです。
※コード長0.3m (但し、KE-2Rのみ0.2mリード線) ※最大吸着力はSS400、10mm厚、研削仕上面プレート全面吸着の値です。

1N≒0.1kgf

※許容温度 電磁ホルダKE各形、永電磁ホルダKEP形、ならびにハイブリッドホルダKE-H形は、周囲40℃以下、吸着物50℃以下でご使用ください。さらに高温の場合には、ご相談ください。
※KE-B、KE-E (D)、KE-RA (R) 形の鋼板厚に対する吸着力及び、空隙に対する吸着力はそれぞれグラフに示す通りです。
※最大吸着力とは、吸着物の材質、形状、面仕上等、最も適した条件で得られる吸着力のことです。従って実際には、状況により大巾な低減値能力で選定します。一般的な吊上能力はグラフから得られる吸着力の1／2以下となります。なお、吸着物の吸着面が穴や溝で全面が得られない形状や、吸着搬送時に大きなG (加速) が加わると云った特殊状況の場合は、あらかじめご相談ください。
※電磁ホルダは、通電のOFFだけでは残留吸着力が残ります。吸着物の質量が残留吸着力を上回っている場合は離脱しますが、そうでない場合は自動釈放形を除いて、一般的には逆励磁による減磁機能付の整流器が必要です。
※電磁ホルダは防滴構造ではありません。防滴仕様についてはご相談ください。
※電磁ホルダ用整流器に無停電電源装置を使用する場合はあらかじめご相談ください。